

【主な意見】

◎佐賀市スポーツ推進計画素案について

(委員)

・最近、新しいスポーツが出てきていますし、非常にメディア等でも注目されておりますし、オリンピックの種目としても、加えられている種目は出てきているとこっぴつていうことは承知しております。

ただ一方で、日本の伝統的なスポーツが今回の計画の中にはあまり見えないので、そちらの注力つていうのがどうなのかなというのが非常に疑問視するところです。

日本の伝統的なスポーツつていうのは、ただ単に体づくりのレベルではなく、弓道とか、合気道とか、そういった「道」がつくのは、体づくりプラス日本人の精神性も高めるといような非常に高度なものだと理解しておりますので、少子化がこれからどんどん進む中、指導者も恐らく少なくなっていくであろう将来を考えると、今ここでいい指導者をいろんな若い人たちに日本の伝統的なスポーツを伝授していただくということにも注力しておかないと、日本の伝統的なスポーツ・日本の伝統的な精神を受け継ぐ人たちがに少なくなってしまう危機感があると思っています。

(委員)

・これから少子化になっていくことで、ある競技にいと、小さい頃からこの競技を子どもたちにしてほしいとか、何か取り合いみたいな感じになるのは嫌です。

だから、少子化で、子どもたちをこの競技にとか取り合うのでは無く、子どもたちのこれからの成長を考えたら、いろんな競技に関わって、体をいろんな方向に動かしたりすることで、自分はこのスポーツに行きたいとか、このスポーツをしながらも、こっぴつての大会にも出たいと思うようないろんな競技に関わってほしいと思っています。

(委員)

・スポーツボランティアの件ですが、する・みるをささえるつていう人たちのためのささえるスポーツのささえる、する・みるとかをささえるためのささえるボランティアつていう考えじゃなくて、スポーツのささえるに参画する人をどう支援するかつていう視点が必要だなあと思いました。スポーツボランティアコーディネーターみたいな人たちの育成というところが重要になるかもしれません。

(委員)

・どこまで書くのか、具体的に書くのか、それとも、方向性を書くのか。具体的に書くのであれば全て具体的に書いたほうがいいと思いますし、方向性を示すのであれば、方向性を示した上で、例えば、ここには入れないけども、具体的取組の具体例としてそういうとこに落とし込むのか、そこの整理つて必要かなと思います。

(委員)

・平成 21 年のスポーツ振興基本計画から何となくこう携わらせていただいている立場として、光るものが無く、何となくスポーツというものを推進しようでしたが、佐賀市といえは、これがあるよねつていうプロスポーツで売り出せるものが出てきました。

そこに少し乗る形で、それをうまく活用して、スポーツというものを盛り上げていきたいという、やつとそういうものが出てきたつていうのは正直あつて、そこに寄り過ぎるといけないんですが、それをうまく活用してスポーツを盛り上げていこうという、何かそこはやつぱり伝わるようなも

のにしておくっていうのは自然な流れかなあというふうに思います。

(事務局)

今回で第 8 回ということで冊子の案を作成させていただきました、今後の流れは、教育委員会にこの推進計画の案を出すことになります。

そのあと議会の総務委員会に説明し、その後、パブリックコメントを実施します。そのあと、教育委員会にもう一度、パブコメの結果を受けた形で報告し、次の審議会で答申の案を確認していただくことになります。

前回までの皆様から頂いた御意見を、素案に落とし込んだ形で説明させていただきました。今日頂いた意見等に基づいての修正や、写真、見た目のデザインとかも含めて事務局のほうに修正等を一任頂ければと思います。